

経営比較分析表（令和3年度決算）

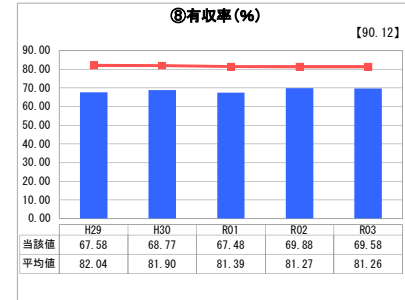
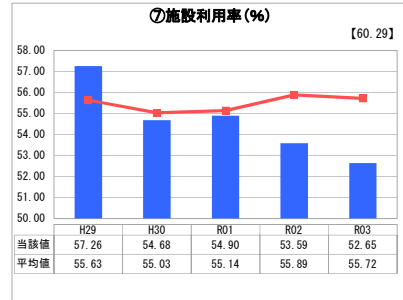
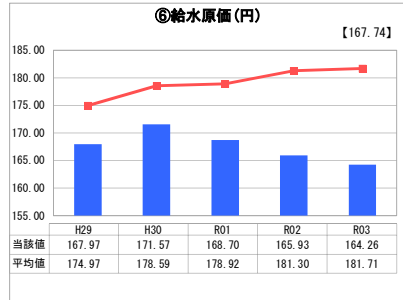
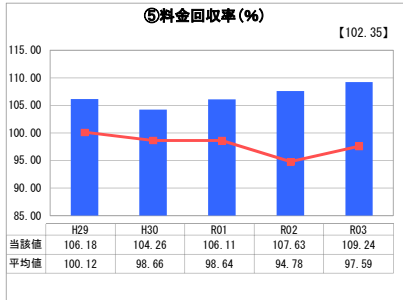
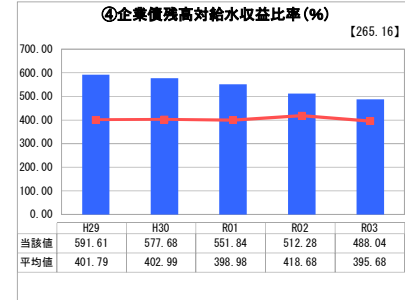
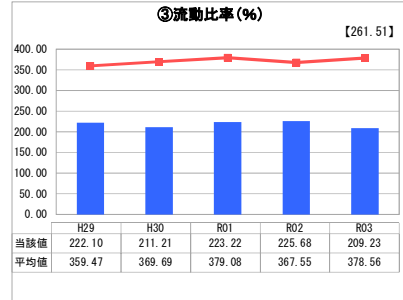
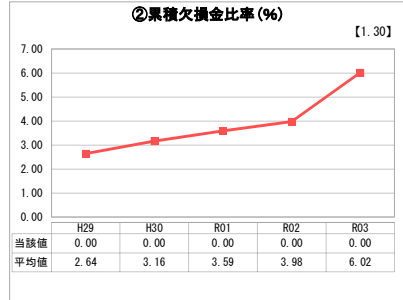
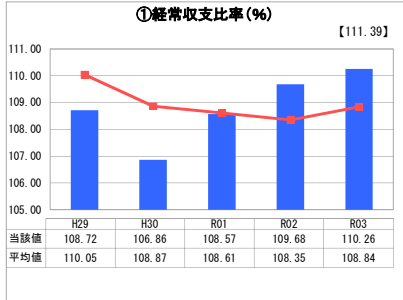
徳島県 美馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	57.14	94.45	3,520	

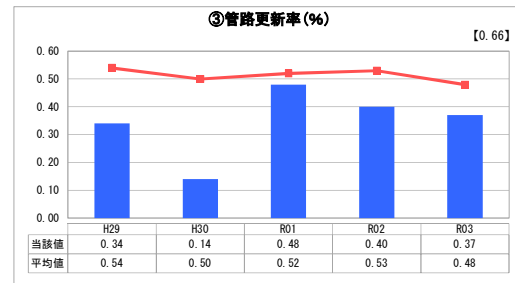
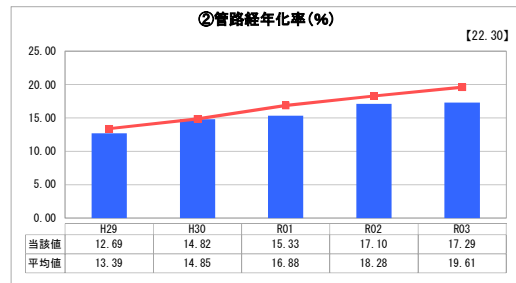
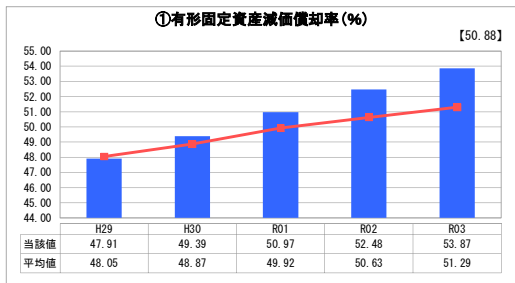
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,771	367.14	75.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
26,030	84.18	309.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常利益(100%以上)を維持しているものの、全国平均値を下回っている。
- ②累積欠損が生じておらず良好である。
- ③100%を上回っており資金の流動性は確保できている。
- ④企業債残高対給水収益比率に関しては例年ほぼ同じ比率で推移している。平均値を大きく上回っているが、経営戦略のシミュレーションでは企業債残高が減少していく見込みである。
- ⑤100%以上を維持できている。
- ⑥昨年度より下回っている。
- ⑦昨年度より平均値、当該値ともに下回っている。給水人口が減少している現状から施設老朽化による更新時には最適化を検討する必要がある。
- ⑧老朽管からの漏水が要因で平均値を下回っていると考えられる。

2. 老朽化の状況について

- ①平均値を上回っており昨年より上昇している。
- ②昨年と同様に平均値を下回っている。旧簡易水道を加算した結果大幅に上昇している。
- ③②と同様に平均値を下回っているが、財源の都合上優先度の高い順に管路更新をしているので必ずしも前年を上回るものではない。

今後老朽化した管路が増加することが予想されることから、計画的な更新・耐震化を行っていく必要がある。

全体総括

平成29年4月1日に、経営状況の厳しい旧簡易水道を上水道へ統合したことで、各指標の悪化につながっている。また毎年管路の経年率が上昇傾向にあり、そのことから必然と耐震・更新すべき管路が増え数字の悪化の要因となっている。

管路経年率に関しては、簡易水道統合時に大幅に上昇している。それに伴い管路更新を行う必要があるが、管路更新率は減少傾向にある。

美馬市水道事業経営戦略に基づき、経営の健全化と計画的な設備投資を行っていく。